

レジメンNo. 4152-2		レジメン名 ゾルベツキシマブ+CapeOx【2コース目以降】	
病棟 患者番号 氏名	癌種	ステージ	PS
	年齢	身長	体重
	歳	cm	kg
			体表面積
			GFR(血清クレアチニン値)
			ml/min (mg/dl)
【適応がん種】 胃癌		ゾルベツキシマブ/L-OHP/Cape	
1・ゾルベツキシマブ 600 mg/m ² DAY1 2回目以降		【その他注意事項】 胃癌 1st line推奨 CLDN18.2 陽性 且つ HER2陰性 の患者のみ	
2・オキサリプラテン 130 mg/m ² DAY1		催吐リスク HECに準じた対応	
3・カペシタビン (下記参照) Day1~14		2コース目以降から使用！！	
21日(3週)1クール			
NO	薬品	規格	本数
			溶媒
			時間・投与法
①	アプレピタント125mg内服		
②	パロノセトロンパック		1 本 全開で点滴
③	デキサメタゾン 6.6mg		1.5 本 5%ブドウ糖 50mL ②終了後~15分で点滴
④	生食50mL		1 本 ③終了後~全開で点滴
⑤	ピロイ ()mg	100mg	本 注射用水5mLで溶解(20mg/mL) →生食で2mg/mLになるよう希釈 終了後~ 投与速度は別紙参照
⑥	生食50mL		1 本 終了後~30分で点滴
⑦	オキサリプラテン()mg	100mg 50mg	本 本 5%ブドウ糖 250mL 終了後~2時間で点滴
⑧	5%ブドウ糖 50mL		1 本 終了後~全開で投与
★DAY1に カペシタビン錠14日分 オーダー必要★			
カペシタビン 2000mg/m ² (端数切捨て) 分2 14日分			
A	BSA 1.36未満・・・カペシタビン(300mg)	2400mg/BODY/DAY	8錠 分2 朝食後 14日分
⑨	B	BSA 1.36-1.66・・・カペシタビン(300mg)	3000mg/BODY/DAY 10錠 分2 朝食後 14日分
	C	BSA 1.67-1.96・・・カペシタビン(300mg)	3600mg/BODY/DAY 12錠 分2 朝食後 14日分
2週間服用 1週間休み			
【注意事項】 Infusion reactionの予防が必要な場合は、投与30分前に、ジフェンヒドラミン(レスタミンコーワ50mg内服)、必要であれば、アセトアミノフェン(カロナール300~1000mg)の投与を考慮する。			
【看護師注意事項】 Infusion reactionとして、発熱、悪寒、そう痒症、発疹、高血圧、低血圧、呼吸困難等があらわれることがあるので、本剤の投与は重度のInfusion reactionに備えて緊急時に十分な対応のできる準備を行った上で開始すること。また、2回目以降の本剤投与時にInfusion reactionがあらわれることもあるので、本剤投与中及び本剤投与終了後はバイタルサインを測定するなど、患者の状態十分に観察すること。なお、Infusion reactionを発現した場合には、全ての徴候及び症状が完全に回復するまで患者を十分観察すること。 インラインフィルター(0.2又は0.22µm)を使用すること。			
【投与速度】 下記の表を参考に投与を行うこと			
用量	投与速度		
	投与開始から30~60分後まで		その後
800mg/m ²	100mg / m ² / hr		200~400mg / m ² / hr
600mg/m ³	75mg / m ² / hr		150~300mg / m ² / hr
400mg/m ⁴	50mg / m ² / hr		100~200mg / m ² / hr
投与予定日	投与スケジュール	投与時間	備考欄
	①②③④⑤⑥⑦⑧	DAY1	202406作成